

オーストラリア・ブリスベンとの交流を共に目指して 谷津干潟桜まつりが開催されました

平成 25 年 4 月 6 日と 7 日、谷津干潟自然観察センターで「桜まつり」が開かれました。7 日(日)は前日の荒天気とは打って変わっての晴天で、多数の習志野市民の皆さんで賑わいを見せていました。

谷津干潟はラムサール条約に登録されて 20 周年を迎えました。この「ラムサール条約登録 20 周年」を記念して、今回の「谷津干潟桜まつり」を皮切りに 6 月 1 日(土)・2 日(日)、及び 6 月 8 日(土)・9 日(日)の「各種記念行事」、そして 8 月 24 日(土)「愛で包もう谷津干潟」と各種のイベントが企画されています。

最大の催しは「愛で包もう谷津干潟」で、黄色いハンカチに参加者が思いを込めたメッセージを書いて、そのハンカチをつなぎ谷津干潟を包もうというものです。今回のイベントにもこの内容が組み込まれ、子供達を含めたボランティアの人たちが、それぞれに黄色いハンカチに思いを託しそれを結び合っていました。

今回はこのほかにも、日本とは季節が反対になるオーストラリア・タスマニア島で収穫された新そば粉を使って、歯ごたえのある手打ちそばが振る舞われるなど、参加者はいろいろな出し物を楽しんでいました。

ラムサール条約締結のオーストラリア・クイーンズランド州ブリスベンとは谷津干潟に飛来する渡り鳥をとおして、習志野市は長いお付き合いがあります。谷津干潟自然観察センターでは永年に亘りブリスベンの関係者の皆さんとの交流があります。NIA と谷津干潟自然観察センターが相互の事業を協力し合うことにより、このブリスベンとの友好をより市民レベルで発展させることが出来ないか国際交流部会では検討が進められています。

6 月のイベントには NIA も展示スペースを頂き、NIA の活動の状況をお知らせするコーナーも開設されます。皆さんもこの企画に参加しませんか。

